

和歌山縣報

第千四百四十九號

明治四十五年二月二十一日

○告示

○和歌山縣告示第六十一號

左記ノ種牡牛ハ其ノ所有者異動ニ付證明書ヲ書換下付シタリ

明治四十五年二月二十一日

和歌山縣知事 川村竹治

證明書書換

年月日 種類 年齡 毛色 高 サ 所有者住所氏名

舊所有者住所氏名

明治四十五年
二月十七日

和種 三歳 黒毛 四尺五分

西牟婁郡市之瀬村
三栖幸右衛門

西牟婁郡岩田村大字岩田
小倉元助

○和歌山縣告示第六十二號

北海道國有未開地ニシテ賣拂又ハ貸付地並ニ特定地ヲ設定シタル箇所左記ノ通ナル旨北海道廳長官ヨリ通知アリタリ

明治四十五年二月二十一日

和歌山縣知事 川村竹治

○北海道廳告示第九百七十七號

明治四十二年測設殖民區畫地中左記ノ箇所官林ヲ解除シ北海道國有未開地處分法第二條第四條及

第五條ニ依ル賣拂貸付地ニ編入ス

明治四十四年十二月二十四日

賣拂又ハ貸付地

北海道廳長官

石原健三

室蘭支廳管内(區畫地)

國

郡

町村

大字

區畫地名

概算地積

樹木有無

膽振

勇拂

穂別

ホベツ

二二町、六七一七

○北海道廳告示第九百八十一號

明治四十四年北海道廳告示第二百六號北見國宗谷郡稚内町大字聲間村字ヤラキトオマナイ特定地
五百八十五町歩ノ内五町歩ヲ取消ス

明治四十四年十二月二十八日

北海道廳長官

石原健三

○北海道廳告示第一號

左記ノ箇所ハ官林ヲ解除シ北海道國有未開地處分法第二條第四條及第五條ニ依ル賣拂貸付地ニ編入ス

明治四十五年一月七日

北海道廳長官

石原健三

賣拂又ハ貸付地

網走支廳管内(區畫外)

國

郡

町村

大字

地名

概算地積

北見

斜里

朱圓

ホニイタシナベツ

二〇町、六六二〇

○北海道廳告示第二十一號

左ノ箇所ニ市街豫定地ヲ設定シ北海道國有未開地處分法第二條第四條及第五條ニ依リ賣拂貸付候條明治四十一年^{六月}北海道廳令第六十四號北海道國有未開地處分法施行細則ニ依ルノ外出願方及處分ニ關シ左ノ通定メタリ

但シ圖面ハ北海道廳及所轄支廳所轄村役場ニ備置ク

明治四十五年一月十六日

北海道廳長官 石原健三

一、願書ハ明治四十五年一月二十日ヨリ所轄支廳ニ於テ受理ス

二、賣拂フヘキ地積ハ一戸ニ付一區畫ヲ標準トス但シ二區畫以上ノ賣拂ヲ希望スル者アルトキハ證據ノ上特ニ許可スルコトアルヘシ

三、事業成功期間ハ一ケ年トス但シ特殊ノ起業ヲ要スルモノハ特ニ二ケ年迄延長スルコトアルヘシ

四、重復出願アリタルトキ若ハ其ノ他ノ都合ニ依リ出願ノ箇所ヲ變更指定スルコトアルヘシ賣拂又ハ貸付地

上川支廳管内(市街豫定地)

國 郡 町村 大字 市街豫定地名 戶數 概算地積

天城 中川 下名寄

ヒワカ 105戸

4,971.87

空知支廳管内

石狩 雨龍 一巳

幌加内

5戸

11,011.0

○北海道廳告示第二十六號

明治四十三年及四十四年測設殖民區畫地中北海道國有未開地處分法第二條第四條第五條ニ依リ賣拂貸付スヘキ土地及同法第三條ニ依リ設定シタル特定地左ノ如シ
 明治四十五年一月十八日
 賣拂又ハ貸付地
 北海道廳長官 石原健三

後志支廳管内(區畫地)

國	郡	町村	大字	區畫地名	概算地積
膽振	虻田	真狩		ソークシユオマベツ	一、九〇、六二〇
同	同	同		喜茂別	三、三〇、〇〇〇
特定地					

後志支廳管内(區畫地)

膽振	虻田	真狩	ソークシユオマベツ	一、五五〇、〇〇〇
同	同	同	喜茂別	一、四九、〇〇〇

○北海道廳告示第三十二號

北海道國有未開地處分法第二條第四條第五條ニ依リ賣拂貸付スヘキ土地及同法第三條ニ依リ貸付スヘキ特定地左ノ如シ但シ圖面ハ北海道廳及所轄支廳ニ備置ク

明治四十五年一月十九日
 賣拂又ハ貸付地
 北海道廳長官 石原健三

網走支廳管内(區畫地)

國	郡	町村	大字	地名	概算地積	樹木有無

北見	斜里	蒼瑠	止別甲	五三、四三三	雜樹疎林
同	同	同	同乙	二三八、七二二	同
天爐	上川	上川支廳管内	劍淵	二七、五〇八	無木
石狩	同	東旭川	チカブツナイ	八、〇〇〇	雜樹疎林
膽振	室蘭支廳管内	虻田	ホロナイ	八、二二八	無木
後志	後志支廳管内	磯谷	森別	七六、二〇〇	同
日高様	浦河支廳管内	南尻別	ウソメ甲	八、八四三	針潤混合林
同	似標	似岡田	同乙	八九、三六九	同
同	三石	三石	上ワカンマシ	五、四三三	雜樹疎林
千島	根室支廳管内	梟舞			
根室	國後	留夜	植内	一三、〇六五	針潤混合林
同	野付	平系	タモカ	六、六五七	無木
同	標津	標津	シベツ	一七、五〇〇	同
同	同	伊茶仁	イチャニボ		
上川支廳管内(區畫地)					

國	郡	町村	大字	區書地名	概算地積	樹木有無
天璽	中川	下名寄	大字	ヒウカ	三九〇五五	樹木有無
石狩	空知	上富良野	大字	ベレリイ	五九〇〇〇	針潤混合林
同	上川	愛別	大字	マタークシエアイベツ	五、〇〇〇〇	雜樹疎林
膽振	勇拂	占冠	大字	トムム	一三、九〇〇七	雜樹疎林
同	勇拂	鷓川	大字	入鹿別	一〇、〇〇〇	無木
同	虻田	辨邊	大字	辨邊	一六、五七〇四	雜樹疎林
根室	標津	標津	大字	標津	一〇、〇〇〇	同
國	郡	町村	大字	市街豫定地名	戶數	概算地積
天璽	上川	劍淵	大字	劍淵	一	概算地積
國	郡	町村	大字	區書地名	戶數	概算地積
後志	磯谷	南尻別	大字	カイカラ澤	二元	概算地積
特定地	上川支廳管内(區書地)	町村	大字	區書地名	概算地積	樹木有無

天塩

上川 多奇

フリーベツ 五、〇〇〇

雜樹疎林

同

同 同 下名寄

下タヨロマ 一〇、〇〇〇

同

同

中川 愛別

ピウカ マタルクシ 四、九四二五

無木

石狩

上川 愛別 南富良野

ユアイベツ 一〇、〇〇〇

同

同

空知 後志支廳管内

ルーオマンソラアチ 三三、七二六

雜樹疎林

後志

岩内 前田 幌似

幌似 五、〇〇〇

無木

同

磯谷 南尻別

カイカラ澤 四、七三二〇

雜樹疎林

根室

標津 標津

標津 三七、四八〇〇

同

○北海道廳告示第三十三號

明治四十四年^上北海道廳告示第八百九十八號ヲ以テ特定地トシテ公示シタル後志國磯谷郡南尻別

村カイカラ澤區區畫密居宅地一段三畝十步ヲ北海道國有未開地處分法第二條第四條及第五條ニ依

ル賣拂又ハ貸付地ニ變更ス

明治四十五年一月十九日

北海道廳長官 石原健三

○和歌山縣告示第六十三號

左記狩獵免狀明治四十五年二月四日縣下東牟婁郡上太田村大字長井ヨリ全郡下太田村大字中里ニ

至ル途中ニ於テ遺失ノ旨届出カリ

明治四十五年二月二十一日

和歌山縣知事 川村竹治

記

和歌山縣東牟婁郡下太田村大字中里
 九九番地農業
 岸田鹿藏
 明治十二年七月生

新第一五七號

乙種三等狩獵免狀

明治四十四年十二月九日下付

○和歌山縣告示第六十四號

岡山縣ニ於テ市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料並給與金扶助金請求手續左ノ通規定シタル旨通知アリシ

明治四十五年二月二十一日

和歌山縣知事 川村竹治

○岡山縣令第五號

市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料並給與金扶助金請求手續左ノ通り相定ム
 明治四十五年二月七日岡山縣知事大山綱昌市町村立小學校教員退隱料遺族扶助料及給與金扶助金請求規程

第一條 市町村立小學校教員退隱料若ハ遺族扶助料ヲ受クル者ハ支給期日ニ至リ其月十五日迄ニ第一號書式又ハ第二號書式ノ請求書ヲ作り本籍地若ハ居住地市町村長(之ニ準スヘキ者ヲ)ニ就キ當該証書ノ檢閲ヲ受ケ其ノ證明ヲ得テ當廳ニ差出スヘシ

第二條 市町村長ハ前條ニ依リ証明ヲ請フ者アルトキハ其ノ證書ヲ檢閲シ市町村立小學校教員退

隱料及遺族扶助料法第五條第三號官吏遺族扶助法第八條及第十六條ニ牴觸セサルモノト認ムル
トキハ當該請求書ニ書式ノ如ク証明スヘシ

第三條 給與金若ハ扶助金ノ辭令書ヲ受ケタル者ハ第三號書式ニ依リ請求書ヲ作リ當廳ニ提出ス
ヘシ

第四條 第一條第三條ノ請求金額拾圓以上ニシテ送金ヲ要スルモノハ印鑑ヲ添付スヘシ

第五條 退隱料又ハ遺族扶助料若ハ給與金扶助金ヲ受ケタル者請求未済コソテ死亡シタルトキハ其
遺族ヨリ前各條ニ準據シ戶籍謄本ヲ添付シ請求スヘシ但シ遺族無能力者ナルトキハ法定代理人
ニ於テ記名調印スヘシ

附 則

本令ハ明治四十五年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十九年岡山縣令第七十六號ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第一號書式(用紙半紙)

市町村立小學校教員退隱料請求書

請求金額	所屬期間	證書番號	年 額	備 考
金何圓何十錢	自何年何月 至何年何月	第 何 號	金 何 圓	

右請求候也

明治 年 月 日

本籍地府縣郡市町村大字番地

現住所 前全
元岡山縣何郡市何學校何職

名 氏

支拂命令官岡山縣知事宛
右證書ヲ檢閱シ且ツ受領權アルコトヲ証明ス

年 月 日

備考 道廳府縣郡市町村長 何 某 印

- 一 新ニ支給ヲ受クル者ハ「新ニ支給ニ依リ明治何年自何月至何月ノ分ト」又支給停止若ハ死亡其他ノ事故ニヨリ權利消滅等ノ者ハ其ノ理由年月日等備考欄ニ詳記スヘシ
- 二 有給ノ公務ニ就キタル爲メ退職料ノ一部若ハ全部ノ支給ヲ停止セラルヘキ者ハ其ノ職名給料額及給料ヲ受ケタル最初ノ日退職當時ノ給料額(年功加俸特別加)ヲ備考欄ニ記載スヘシ其ノ支給ヲ停止セラレタル者支給ヲ復スル場合亦之ニ準ス
- 三 退職料ノ支給ヲ停止セラレサル者ト雖モ有給ノ公務ニ就職中ノ者ハ其ノ職名及給料額ヲ備考欄ニ記載スヘシ

第二號書式(用紙半紙)

市町村立小學校教員遺族扶助料請求書

請求金額	所屬期間	証書番號	金額	備考
金何圓何十錢	自何年何月 至何年何月	第何號	金何圓	

右請求候也

明治 年 月 日

本籍地府縣郡市町村大字番地

現住所 空前

故岡山縣何郡市何學校何職何某

(寡婦孤兒父母祖父母等) 氏

名 ㊦

支拂命令官岡山知事宛

右証書ヲ檢閱シ且ツ受領權アルコトヲ証明ス

年 月 日

道廳府縣郡市町村長

氏

名 ㊦

備考

一 新ニ支給ヲ受クル者ハ「新ニ支給ニ依リ明治何年自何月至何月ノ分ト」又離籍成年ノ又ハ其他ノ事故ニ依リ權利消滅シ若ヤ支給ヲ停止セラル、場合ハ其ノ理由及年月日ヲ備考欄ニ記載スヘシ其ノ支給ヲ停止セラレタル者支給ヲ復スル場合亦之ニ準ス
第三號書式(用紙半紙)

市町村立小學校教員給與金(扶助金)請求書

一金 何程

是ハ明治何年何月何日付辭令市町村立小學校教員退職給與金(一時給與金)扶助金
右支拂相成度候也

明治 年 月 日

現住所府縣郡市町村大字番地
元何郡市校名職名

仕拂命令官岡山縣知事宛

氏 名 印

○辭令

○明治四十五年二月二十日

和歌山縣統計吏員ヲ命ス

月俸拾六圓ヲ給ス

和歌山縣會計吏員ヲ命ス

月俸五圓ヲ給ス

和歌山縣雇ヲ命ス

月俸拾貳圓ヲ給ス

内務部會計課勤務ヲ命ス

武田久章

統計吏員 島 幸之助

島 幸之助

○彙報

○改姓 新宮中學校教諭齊藤金松ハ今般草野ト改姓セリ

○町村吏員ノ異動

○明治四十五年二月十九日認可

海草郡濱中村助役

木 常 吉

○正 誤

明治四十五年一月三十日縣報第千四百四十三號縣令第五號第一條第二項中「幻燈ノ次ニ「視目鏡」ヲ脱ス」第十條第十三項中「幅内法」ハ「幅内法」第十一條第二項中「入場者定員」三人未滿」ハ「三百人」未滿第十四條第三項中「場合ニ於コテ」ハ「場合ニ於テ」ハ「第十七條第一項中「繼續」ハ「繼續」ノ誤」及第二項中「所轄警察官署以下ヲ第三項トス」第二十條第三號中「其ノ他」ハ「其ノ他」ノ第二十二條第二項中「發明」ハ「說明」ノ誤第二十八條第一項中「若シ」ハ「若」全項中「燈火ノ燃質物以下第二項トス」全末項中「各前項」ハ「前各項」第三十二條中代理人ト戸主ト家族ト雇人ノ問点ヲ脱ス第三十三條第一項中「興行ニシテ」ハ「興行者ニシテ」未成年者ニ在リテハ」第三十五條中願届書ハ「總テ」ハ「總テ」ノ執レモ誤又縣報第千四百四十五號訓令第四號第二條中本規程ノ下「依ニリ」ハ「依リ」第五條第一項中「周旋」ハ「周旋」第七條第三項中「親察」ハ「視察」第八條中「公衆」ハ「公衆」附錄第一號様式參考欄「改ノ狀況」ハ「改心ノ狀況」全第二號様式中出ノ部保護ヲ「轉キタル者」ハ「保護ヲ解キタル者」及狀況ノ部「保護ヲ要セラル者」ハ「保護ヲ要セサル者」ノ執レモ誤

○ 觀 象

自二月十六日至二月十八日氣象

(和歌山測候所觀測)

種 目	二月十六日		二月十七日		二月十八日	
	前 年	本 年	前 年	本 年	前 年	本 年
平均氣壓	七六四・八	七六〇・精〇	七六七・精二	七五九・精七	七六八・精九	七六一・精一
平均氣溫	七度四	一〇度四	五度〇	七度二	三度八	五度四
最高氣溫	一一度二	一五度一	九度七	一〇度一	八度〇	八度四
最低氣溫	三度九	六度四	〇度九	六度〇	冰点下〇度四	二度八
最多風向	北西	西南西	四	西北西	西北西	西
平均風力	三米〇	一米五	三米七	五米〇	三米六	五米三
天 氣	晴	晴	晴	曇后晴	晴	半晴
降水量	午后三時三十六分 二十秒微量		曉間結露黃昏微雨		曉間結露	
記事雜象						

明治四十五年二月二十一日印刷
明治四十五年二月二十一日發行
(毎月三日、九日、十五日、十八日、二十一日、二十四日、二十七日、三十日發行)

和歌山縣知事官房

和歌山市北休賀町六番地 宗七
印刷人 和歌山市北休賀町六番地 宗七
印刷所 和歌山市北休賀町六番地 宗七